

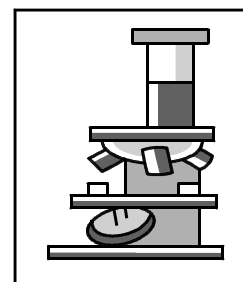
喜びは胸にあふるる

「笑顔いっぱい」の子どもたちを育てることが本校の目標です。私たちはそのために、子どもたちが自己肯定感をもつことができるよう日々指導しています。

この学校便りは、ホームページに掲載しています。

ぎ問、次から次に

5年 福江 陸



理科で学習する前まで、メダカの卵がこんなに小さいとは思いませんでした。たった約1ミリメートルの大きさの中で、心臓が動き、血液が流れているとは思いませんでした。

どうやってメダカのめすはあんな小さい卵を作ることができるのか、とても疑問に思いました。

1つの理科の実験結果についてよく考えてみるといくつもの新しい疑問が出てくることにぼくは驚きました。これからは実験を通して、この疑問の答えを見つけていきたいと思ひます。

7/7宮日新聞 「若い目」より

陸君が勉強していく中で、「なぜ?」「ふしぎだ!」と、ぎ問をもったことはすばらしいことです。好奇心（めずらしいことや知らないことなどに興味をもつ心）をもって勉強することはとてもわくわくすることです。

学校のため進んでボランティアをしています!

6年1組・2組

6年生は、毎朝、ボランティア活動を行っています。運動場の草取り、玄関横の草取り、飼育小屋周辺の草取り、階段そうじ、渡りろうかそうじなど…学校をきれいにしてくれています。

自分たちですることを決めて、進んで行動しているところが素晴らしいと感じています。



みどりっ子のキラリ!

7月9日(木)の朝の時間、2年生が1年生にきれいでおしゃれな手作りペンダントをプレゼントしました。2年生の生活科で『1年生を喜ばせる会』について話し合い、内容を決めたとす。1年生を喜ばせたいという思ひで、がんばって作りました。

ペンダントをもらった1年生は笑顔いっぱい。渡した2年生も笑顔いっぱいでした。



7月27日(月)
～8月6日(木) 個人面談
8月24日(月) 始業式
31日(月) 心のアンケート

8.11～8.14は、学校閉庁です。
緊急時は延岡市教育委員会(22-7031)
へ連絡してください。

